



2 0 2 0 年 6 月 3 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

立憲民主党・国民民主党WTにPT中間とりまとめを提出

J R 連 合 と の 共 同 歩 調 で 政 策 実 現 へ !

6月2日、JR連合は、立憲民主党「公共交通のあり方WT」、国民民主党「JR二島・貨物問題検討WT」の両座長に対して、JR二島・貨物経営自立実現プロジェクトの政策提言・中間とりまとめを提出した。今後、9月末の予算概算要求や秋の臨時国会などを見据えて、さらに連携を図り、共同歩調で取り組む決意を共有した。

冒頭、荻山会長は提言内容の趣旨を説明したうえで、先日の両WTからのヒアリングを振り返り、「私たちからは大胆な提起をさせていただいた。しかし、各社が地に足つけて経営できるようにするためには国や地域との役割分担が必要だと考えている。今回提出した提言内容については、WTでの今後の議論にも反映いただきたい」と述べ、今後の取り組みにむけて「働く者にとってもよりよい経営自立を目指せるよう、両党との連携強化を図り、政策実現を成し遂げていきたい」と力強く訴えた。

これを受けて、立憲民主党WTの矢上雅義座長は「将来像は非常に重要である。あるべき経営とあるべきネットワークがどういったものか、議論していきたい」と所感を示した。また、国民民主党WTの泉健太座長は「JR各社の持続可能性が欠かせない。地域にも愛される企業として、単に残せば良いということではなく、時代に合わせて考えなければならない」と目指すべき方向性を語った。



今回の両WTへの政策提言の提出は、JR北海道、JR四国、JR貨物の経営自立にむけた取り組みの第1ステップと言える。引き続き、各方面に対して主張を展開するとともに、さらなる議論・検討を行い、最終提言の策定にむけ活動を継続していく。